

# なぜか 英語が話せないの

<60>

## 会話上達法第二部

戦後間もなく始めた小さな電子工業会社を「世界のソニー」に育て上げた盛田昭夫会長は、中学時代、英語が特別に好きでもなく「ただ、落第点になるかならないかだけが問題だった」。

それが厳しい先生の影響

で、高校時代に英語を勉強しようとした。大学でも戦時中、こっそり英語の海賊版を買って読みあさった。しかし、戦後、進駐軍と話してみると、チンプンカンプン。昭和二十七年、トラ

ンジスタの契約のため、初めて欧米に出かけたときは、つた。そして二度目の訪米

## 欧米人の発想で話す 恥ずかしがらず堂々と

通訳をつけた。

時には一人で交渉した。

盛田会長が、コミュニケーションの手段として英語の必要性を痛感したのは、このとき。ヨーロッパに滞在した二カ月間、英語の話せる人を見つげると、天の

日本人の中には、自分の英語はダメだと思っている人が多い。よくジャパニーズ・イングリッシュなどど卑下する。しかし、米国人にもドイツ語くさく話すキツシンジャー元国務長官らなまりのひどい人が目白押し。文法的な間違いも多い。だから発音が少しおかしくても自信を失う必要はない。

盛田会長は「発音や、ヒヤリングが十分でなくても、英語国民の思考スタイルに近づいて話せば、意思は通じる」と話している。逆に日本の発想は誤解を招く。日本人同士の話では説

得力がある「起承転結」は、外国人には理解できない。例えば「I understand you how ever」などは英米人は絶対に言わない。understandといつのは「わかる」と同時に、相手



「世界のソニー」を育てた盛田会長は、中学時代、英語が特別に好きではなかった

に賛成したという意味だからである。交渉でも日本人は結論をあとに言うが、欧米人は「イエス」か「ノー」といい、次にその理由を説明していく。この点も注意が必要

る。発音が悪く、相手が理解しなければ、わかるまで説明する。失敗を気にしない。語学では、いい意味での恥知らずになることが大切である。

である」。

ソニーでは、外国からの客が工場見学に来ると、びっくりするほどみな英語を話す。昔だったら自分より英語のできる人の前で英語をしゃべるのは勇気がいっただが、みんな平気でしゃべ